



## 改めて防災について考えました

1月17日（水）今年度3回目の避難訓練を行いました。今回は、授業時間外に給食室から出火した場合を想定し、火元から遠い避難経路を自分で考えて避難をするという計画で行いました。写真は、その時の様子を写したものです。



学童側の出入り口から避難



上の運動場に集合

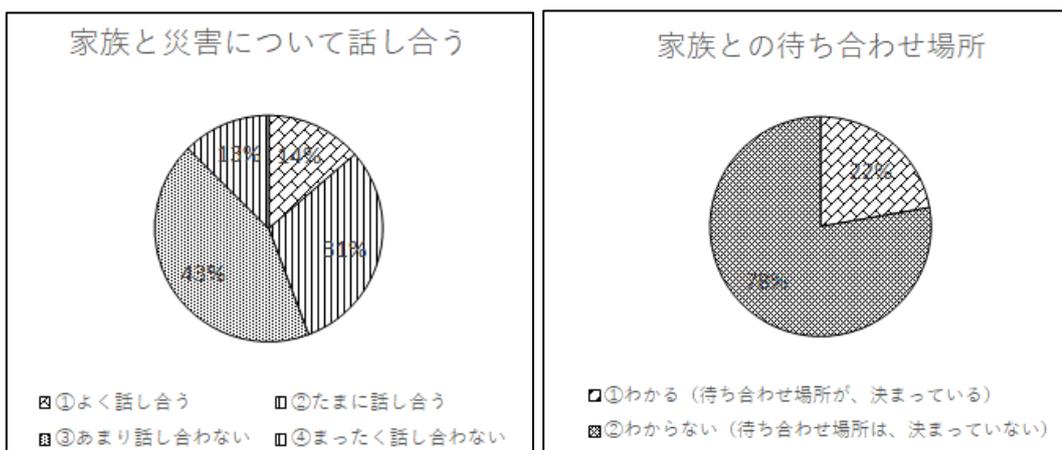


避難の様子について確認

事前に、火災からの避難についての学習を、各学年1時間ずつ行っていたこともあり、避難はとてもスムーズで、全員が整列するまでに3分かかりませんでした。火災は、私たちにとって一番身近な災害です。あってはいけないことですが、いざというときには命を守る行動がとれるよう、今後も指導をしていきたいと思えます。

ところで、一年間の防災学習を終え、子どもたちにアンケートをとりました。アンケートから、子どもたちは、防災教育や避難訓練の大切さをしっかりと感じており、またいざというときにどのような行動をとればよいか理解できていることがうかがえました。

しかし、家庭での防災への備えについては、心配な面も明らかになりました。



①「防災について家族と話をすることがあるか」の問いについて、「よく話し合う」「たまたま話し合う」と回答した児童が45%でした。

②「災害が起きた時に、家族と待ち合わせ場所を決めているか」の問いについては、「決めている」と回答した児童はわずか22%でした。

災害はいつ起こるか分かりません。災害時の行動について、御家族で話し合っておくことも大切かもしれません。